

いはら陽輔

活動レポート「今こそ始める和光の未来づくり」



平成25年和光市議会9月定例会報告

8月29日(木)～9月20日(金)の期間で9月定例会が行われました。9月定例会では平成24年度の決算審査を行いました。決算の概要については以下の通りです。

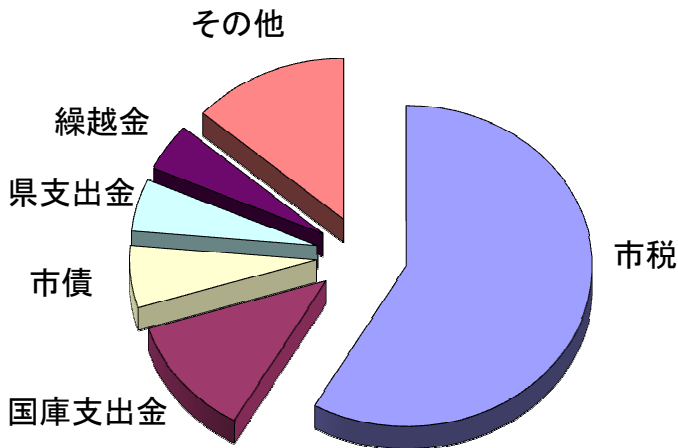
予算額と決算額の比較 (単位: 円)

| 会計名 | 予算額 | 支出済額 | 差引額 |
|--------|-----------|-----------|---------|
| 一般会計 | 229億7808万 | 221億8171万 | 7億9636万 |
| 国民健康保険 | 71億1555万 | 68億4377万 | 2億7178万 |
| 後期高齢者 | 5億5170万 | 5億2525万 | 2645万 |
| 介護保険 | 28億7594万 | 27億1814万 | 1億5779万 |
| 下水道事業 | 12億3856万 | 11億5573万 | 8282万 |

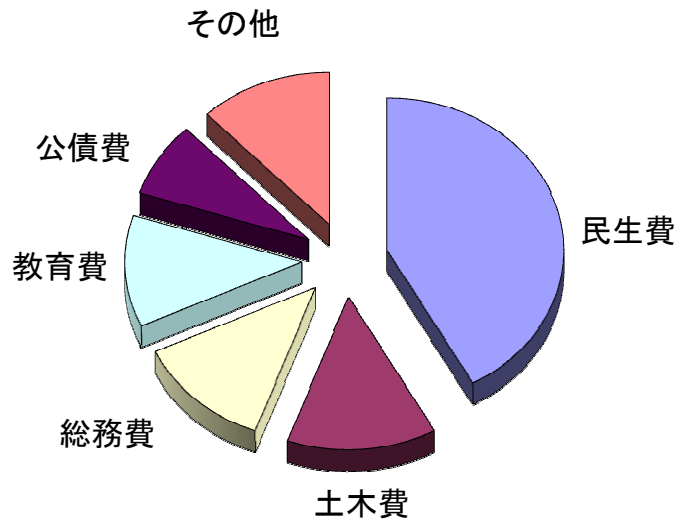
一般会計前年度決算の比較 (単位: 円)

| 年度 | 平成23年度 | 平成24年度 | 増減 |
|------------|-----------|-----------|---------|
| ①歳入 | 232億5875万 | 235億3436万 | 2億7561万 |
| ②歳出 | 221億3398万 | 221億8171万 | 4773万 |
| ③差引額 (①-②) | 11億2477万 | 13億5264万 | 2億2787万 |
| ④翌年度繰越額 | 9245万 | 1億3296万 | 4501万 |
| 実質収支 (③-④) | 10億2231万 | 12億1968万 | 1億8737万 |

平成24年度一般会計決算【歳入】の内訳



平成24年度一般会計決算【歳出】の内訳



その他、主な議案と審議結果は以下の通りです。

詳細については和光市議会のホームページをご覧ください。

(市議会のホームページから「議会情報」の「定例会・臨時会の日程と審議結果」に進んで下さい)

| 議案(抜粋) | 議案の概要 | 審議結果 |
|--------------------------|---|------|
| 職員の給料の特例に関する条例を定めることについて | 国家公務員の給与減額に伴い、国より地方においても給与減額を実施するよう要請を受けたことにより、特例期間(平成25年9月1日～平成26年1月31日)、職員の給料を減額支給する条例を定める。 | 原案可決 |
| 平成25年度補正予算 | 一般会計予算に7億3548万円を増額。補正後は223億1440万8千円。 | 原案可決 |

● 職員の給料の特例に関する条例を定めることについて

この条例は国家公務員の給与を平均7.8%削減したことに伴い、地方自治体への交付税を削減することにより、その交付税削減分は職員給料の削減で補填することを国が要請していることにより和光市においても議案として提出されたものです。6月議会で一度否決となりましたが、削減額の見直しが行われ、市側と職員団体の間で妥結されました。本来であるならば自治体独自で考えるべき内容であり、このような国からの一方的な要求は理不尽であり、今回限りにしてほしいです。

いはら陽輔の一般質問の要旨

市長への手紙について

問：市長への手紙の内容と回答の公開をすべきだと思うがいかがか。

答：市長への手紙は年度によりばらつきはあるが、200から300件ほど頂戴している。公開については市政の透明性の観点から重要であると認識しているが、公開することによってかえって敷居が高くなってしまい、件数が減ってしまう恐れがある。

問：公開を希望する・しないの項目を設け、希望者だけの内容を公開すればよいのではないか。

答：以前、公開するかどうかのチェック欄を設けていたが、公表を希望されない方が多かったことから、現在はチェック欄は設けていない。今後チェック欄を設けることを含め、公開することについて検討していきたい。

住宅取得補助制度

問：行田市では定住人口の増加を図ることを目的として、子育て世帯の住宅取得を支援する「行田市子育て世帯定住奨励金を創設した。市内の子育て世帯には最高で20万円、転入してきた子育て世帯が1年以内に住宅を取得した場合は最高で60万円を支給する。和光市において実施する考えはあるか。

答：和光市は年々人口が増加しており、人口が減少傾向にある行田市とは状況が違うことから住宅取得補助制度を実施する考えはない。和光市の定住施策は、区画整理等による都市基盤整備、地区計画等で敷地面積、居住面積等の基準を定めることにより、良好な居住環境を提供することが重要と考える。

ハザードマップの見直し

問：近年、ゲリラ豪雨が多発しており、今年の夏は山口と島根でいずれも1時間に100ミリを超える猛烈な豪雨が発生した。和光市において同様の豪雨があった場合には現在のハザードマップの想定を超えてしまう。見直しが必要ではないか。

答：ハザードマップは、荒川は国土交通省が新河岸川は埼玉県が水防法に基づいて、浸水想定地域について示し、そのデータを元に作成している。今後国、県で見直しがなされた場合、必要に応じて修正をする。現在内水による浸水被害についても掲載しており、経年変化による修正は行っていく。

自転車マナーの向上

問：環境への配慮や健康志向の高まりから自転車利用者が増えている。その一方でスピードの出しすぎ、スマートフォンを操作しながらの運転、音楽プレーヤーを聞きながらの運転など、危険な運転が目につく。自転車マナー改善のために啓発や指導を行っていく必要があると思うが見解を伺う。

答：市では小学校で自転車教室、中学校では県作成の啓発資料を全生徒に配布している。また交通マナーアップを周知するための啓発活動として、春、夏、秋、冬の交通安全街頭キャンペーンを行っている。高齢者には高齢者自転車及び歩行コンクールを毎年実施しているなど、啓発に努めている。

問：県では自転車事故防止やマナー向上のためにレッドカードを作成し、マナー違反者に配布していると聞いているが、和光市での配布実績を伺う。

答：和光市内においても各交番の警察官を中心に2人乗りをしている、あるいは夜間に無灯火で走行しているというような危険な運転を行っている利用者にレッドカードを渡していると聞いている。モラルとマナーの問題に対して警察と連携し、市としても指導、啓発活動に引き続き努力していく。

消費者保護及び啓発

問：消費生活に関するトラブルは数多く、中でも高齢者を狙った振り込め詐欺が被害者数、被害金額が多いことからクローズアップされている。しかし、詐欺や悪徳商法は、高齢者をターゲットにしたものだけではない。若者を狙ったもの、主婦を狙ったもの等、その種類や手口は多種多様かつ巧妙で、誰もが被害者になってしまう危険性ははらんでいる。被害にあわないためには事前に手口等の情報を入手しておくことが必要だと考えるが、例えば市のホームページ等で専用ページを設けて、情報を分かりやすくまとめて、市民に啓発を行ってはいかがか。

答：ご指摘の通り、詐欺や悪徳商法は様々な手口で行われ、その手口は警察や行政等の対策を受けて巧妙に変化し続けていることから、その時々で問題になっている最新の手口は対策を情報発信することが重要である。情報の発信は様々あるが、ご提案の専用ページの開設も含め、提供する情報の内容を踏まえてよりより媒体、方法を精査し、わかりやすい情報の発信に努めていく。

infomation

● 「わこうっち」がゆるキャラグランプリに初エントリー

ゆるキャラ日本一をネット投票で決める“ゆるキャラグランプリ”に和光市のわこうっちが挑戦します。公式ホームページから一つのメールアドレスで1日1回投票できます。投票は11月8日(金)まで。



● 和光市議会12月定例会の予定について 会期日程：11月28日(木)～12月16日(月)

公式ウェブサイトをご覧ください
<http://iharayosuke.com/>



いはら陽輔

検索

発行：和光市議会議員 いはら 陽輔

〒351-0112 和光市丸山台1-1-10-402

TEL/FAX ▷048-201-0791

E-mail ▷iharayaosuke@gmail.com

Twitter ▷@iharayosuke